

## DSO参画機関が関係するイベント開催報告

### 物質・材料研究機構

令和3年度 男女共同参画セミナー

### 男性学の視点から誰もが働きやすい職場を考える

【日時】2022年2月10日(木) 13:30-15:00  
【場所】オンライン  
【講師】田中俊之(たなかとしゆき)氏  
大正大学准教授

物質・材料研究機構では、2月10日に男女共同参画係セミナーを開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、集合型セミナーから、急遽完全オンラインの形式へ変更しての開催となりましたが、当日の参加者は100名(NIMS:94名、DSO参加機関:6名)と、非常に多くの皆様にご参加いただきました。

男性学の第一人者としてご活躍の田中先生のお話は、一見目新しさを感じないテーマ「働きやすい職場を考える」からでは思いもよらないような新しい視点や新鮮な学びにあふれ、またお話が非常に面白かったこともあり、あっという間の90分のセミナーとなりました。

開催後アンケートでは、回答者の8.5割が「セミナー内容が有益であった」とするなど、高い評価がなされました。

また、感想・意見の自由記述では、「男女共同参画は女性のためだけのものではないと感じた」、「男女共同参画の議論は、異性愛者、既婚者、子供がいる夫婦などを前提にしているものが多く、本当に困っている人が入っていないのは問題と感じた」などをはじめ、「気づき・発見」が得られたという意見が多く寄せられました。

さらに「具体例をもっと知りたい」、「誰もが働きやすい職場にするための国の支援はあるのか」という記述もあり、「気づき・発見」から、「実際に行動を起こしたい」とする意見もでており、大変有意義なセミナーになりました。

2021年度 物質・材料研究機構 男女共同参画セミナー

### 男性学の視点から 誰もが働きやすい職場を考える

「男=仕事」という考え方に  
警鐘を鳴らす、  
男性学の第一人者



# 2/10

木

13:30-15:00  
千現地区第一会議室  
Webexで同時配信あり

対象：NIMS職員  
定員：第一会議室は先着65名  
申込締切：2月8日(火) 正午  
申込方法：デスクネットアンケート

必要記載事項  
①所属部署・職制・氏名 など  
②参加方法 (第一会議室 / Webex)

講師：大正大学准教授  
田中 俊之 氏

【主な著書】  
男がづらいよー絶望の時代の希望の男性 (KADOKAWA)  
男が働かない、いいじゃないか! (講談社)

共著 (小島慶子×田中俊之) 不自由な男たち  
—そのまきづらさは、どこから来るのか (祥伝社新書) 他多数



主催：物質・材料研究機構 男女共同参画委員会 人材部門人材開発室



## DSO参画機関が関係するイベント開催報告

### 農業・食品産業技術総合研究機構

#### 令和3年度ワークライフバランスセミナー 仕事と介護の両立セミナー ～準備編～

【日時】2022年2月28日 13時15分～15時15分

【場所】オンライン

【講師】和氣 美枝 氏

一般社団法人介護離職防止対策促進機構 代表理事  
株式会社ワーク&ケアバランス研究所 代表取締役

農研機構では、介護離職を避ける方法を学び、仕事と介護を両立させるための考え方やヒントをつかむことを目的としたセミナーを実施しました。

講師には、ご自身も現役の介護者であり、「介護をしながら働くことが当たり前の社会」をつくるための活動に最前線で取り組まれている和氣美枝（わき みえ）先生をお招きし、介護者の心構えや準備、社内支援制度とその使い方、遠距離介護など、突然訪れる介護に対処できるよう介護の初動に備えるための知識や情報をご提供いただきました。

当日は180名の参加があり、参加者アンケートでは、「ケアラズファーストという考え方が強く心に残りました」「分かりやすくパワフルな話し方、聞いているだけで元気が出ました」「遠距離介護を不安に思っていたけれど今日のセミナーで今やるべきことが見えました」等、多数コメントが寄せられ、職員の介護への関心の高さが窺えました。セミナー実施後は、職員がいつでも視聴できるようセミナー動画をイントラネット上にてアーカイブ配信をしています。



**農研機構** 令和3年度ワークライフバランスセミナー  
**仕事と介護の両立セミナー**  
～準備編～

突然訪れる介護に対処できるよう、介護の初動に備えるための知識や情報を提供します。さらに、介護離職を避ける方法を学び、仕事と介護を両立させるための考え方やヒントをつかむセミナーです。

**日時** 令和4年2月28日(月)  
13:15～15:15

**対象** 全職員（農研機構の職員はどなたでも参加できます）  
※事前申込み不要

**内容**  
・介護者の心構え  
・介護の準備  
・介護が気になったら  
・社内支援体制とその使い方  
・働く介護者の環境整備  
～遠距離介護～

**講師** 和氣 美枝 氏  
一般社団法人介護離職防止対策促進機構 代表理事  
株式会社ワーク&ケアバランス研究所 代表取締役

**使用ツール** オンライン（Teamsウェビナー）にて開催

Microsoft Streamにて後日録画配信予定（あらかじめお断りください）  
お問い合わせ先／農研機構人事部ダイバーシティ推進室 TEL：029-838-7307 E-mail：f-support@nimsaffrc.go.jp

## セミナー参加報告

### 森林総合研究所より

## 2021年度ダイバーシティ研究環境実現・グローバルシンポジウム ボーダーを越えて、女性研究者の未来を拓くPART II

【日時】2022年2月14日（月）16:30～18:45

【場所】オンライン開催（Zoom 使用）

【主催】大阪市立大学、大阪教育大学、  
和歌山大学、積水ハウス株式会社

このシンポジウムは文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」の成果を報告するとともに、ダイバーシティ推進を一層進展させるために海外の先進事例を学ぶことを目的にオンラインで開催され、森林総研ダイバーシティ推進室のメンバーも参加しました。計5件の成果報告に加え、講演会ではドイツ・ベルリン自由大学のVerena Blechinger-Talcott教授から当地の大学における現状や事例などが紹介されました。さらに、パネルディスカッションではジェンダー・ギャップを取り上げ、議論を通じて様々な情報交換の場となりました。詳細については森林総研ダイバーシティ推進室のウェブサイト（下記）をご覧ください。



2021年度  
ダイバーシティ研究環境実現  
グローバルシンポジウム  
参加無料  
日本語の通訳

＜テーマ＞ ボーダーを越えて、女性研究者の未来を拓く PART II

2022年  
2月14日  
オンライン開催  
(Zoomウェブナー)  
16:30～18:45  
(開場 16:15)

16:35 報告① 「研究環境のジェンダー・エクイティを促進して」  
鏡島美奈子 大阪府立大学 国際学術センター  
鈴木貴由子 大阪府立大学 国際学術センター  
金川めぐみ 和歌山大学 国際学術センター

16:55 講演会  
「ドイツの大学におけるダイバーシティとジェンダー平等の促進」  
ベルリン自由大学の経験から  
Verena Blechinger-Talcott  
教授、ベルリン自由大学  
社会科学部 社会科学部 社会科学部

17:25 報告② 「女性研究リーダーがどのように地域で活躍するために」  
河崎由美子 神戸大学 社会科学部 社会科学部 社会科学部  
本 霞美 大阪府立大学 国際学術センター 国際学術センター

17:35 パネルディスカッション  
「アカデミアにおけるジェンダー・ギャップをいかに解消するのか」  
パネリスト  
フスビ・サコ 京都府立大学 国際学術センター  
治部れんげ 大阪府立大学 国際学術センター  
金澤真理 大阪府立大学 国際学術センター

事前申込不要 <https://bit.ly/3yADIQJ> ●ID: 944 7729 3020 ●パスコード: 033279

問い合わせ先  
大阪市立大学 女性研究者支援室  
〒590-0505 大阪府吹上区 2-2-1-100 TEL: 06-6606-3661  
E-mail: kenei-ocu-support-f@list.osaka-cu.ac.jp  
<https://www.wib.osaka-cu.ac.jp/>

[https://www.ffpri.affrc.go.jp/geneq/chishiki/outside\\_sympto\\_archives/sankahoukoku/2021sankahoukoku/220214ohsaka\\_cu\\_global\\_symposium.html](https://www.ffpri.affrc.go.jp/geneq/chishiki/outside_sympto_archives/sankahoukoku/2021sankahoukoku/220214ohsaka_cu_global_symposium.html)

## 事務局より

### 「DSO News Letter」の記事募集中

「DSO News Letter」の記事を募集してします！  
宛先はこちら [kyodosankaku@nims.go.jp](mailto:kyodosankaku@nims.go.jp) (DSO事務局) です。



## DSO活動報告

### 令和3年度第2回DSO懇話会

【日時】2月18日（金） 13:30-15:00

【開催方法】オンライン（Webexを使用）

テーマ① 男性育児休業取得率向上への取組等について

テーマ② ダイバーシティ&インクルージョンの所内意識醸成のための取組について

テーマ③ シニア層へのキャリア支援について

DSO令和3年度第2回懇話会が、2022年2月18日（金）にWeb会議システムにより開催されました。物質・材料研究機構の主催で実施され、前掲の3つのテーマについて活発な情報・意見交換をおこないました。司会進行・モデレーターは物質・材料研究機構の磯部雅朗氏で、10機関30名が参加しました。

テーマ①～③について、それぞれ関係研修や周知などの事例、今後の課題等の報告がありました。

テーマ①については、休暇・休業の取得支援制度に係るパンフレット作成や制度説明の研修などの事例紹介がありました。

また、研究職の育休取得が直接研究業績に影響することや、代替要員雇用制度における研究職の代替要員の確保の困難さについての意見交換もなされました。

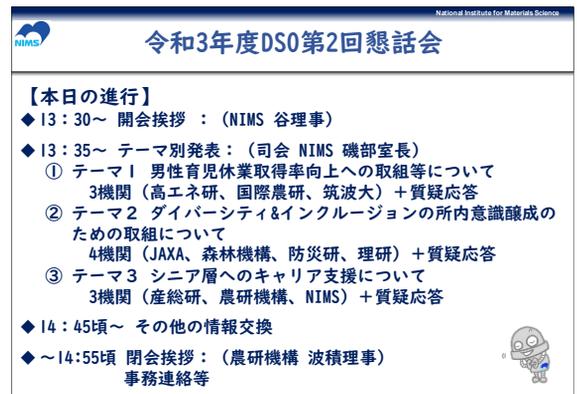
今後の取り組み・課題としては、各種制度（在宅勤務制度、裁量労働制、フレックスタイム制度等）の充実、アンケート調査による組織としての課題・ニーズの把握が挙げられました。

テーマ②についても、階層別アンコンシャスバイアス研修、理事長・理事参加のグループディスカッション、英語アナウンス、女性活躍推進指標の可視化などの様々な事例が挙げられました。

今後の取り組み・課題としては、研修では継続的な実施と女性昇格候補者の参加率の増加、制度周知の徹底などが挙げられました。

テーマ③についても、定年後の再雇用制度や、55歳役職定年制度、セカンドキャリア・シニア層対象研修などの事例が挙げられました。

今後の取り組み・課題として、定年退職年齢の引き上げに伴うニーズに沿った制度整備やセミナー等の開催が挙げられました。



令和3年度DSO第2回懇話会

【本日の進行】

- ◆ 13:30～ 開会挨拶：(NIMS 谷理事)
- ◆ 13:35～ テーマ別発表：(司会 NIMS 磯部室長)
  - ① テーマ1 男性育児休業取得率向上への取組等について  
3機関（高エネ研、国際農研、筑波大）+質疑応答
  - ② テーマ2 ダイバーシティ&インクルージョンの所内意識醸成のための取組について  
4機関（JAXA、森林機構、防災研、理研）+質疑応答
  - ③ テーマ3 シニア層へのキャリア支援について  
3機関（産総研、農研機構、NIMS）+質疑応答
- ◆ 14:45頃～ その他の情報交換
- ◆ ～14:55頃 閉会挨拶：(農研機構 波積理事)  
事務連絡等



## 出産・育児・介護 職員のアレコレ体験記

### その4 配偶者の出産と休暇取得

私の職場には配偶者の出産に伴い男性職員が取得することができる特別休暇として、配偶者の出産時の付き添い等に使用できる「配偶者出産休暇」と、産前産後に新生児や新生児の兄姉の養育等に使用できる「育児参加休暇」が存在します。私は第一子の時に配偶者出産休暇、第二子の時に配偶者出産休暇と育児参加休暇を取得しました。

今現在、コロナ禍の対応で産後の面会が原則禁止となる産院が増えており、今回第二子の出産に際して、私や上の子は、妻と生まれた子と退院までの数日間会うことができませんでした。退院までの4日間、ふとママを思い出しては寂しがらる上の子のためにも、そしてまた出産の影響が体に色濃く残る中、頻回する授乳に寝不足になりながらも頑張る妻のためにも、これらの期間に家族の気持ちに寄り添い、子供との時間を大切にできる本休暇制度は非常にありがたかったです。

妊娠期間や産後は、病院への付き添いや配偶者や子の体調変化により仕事を抜けなくてはならないなど、同僚に負担をお願いする場面がどうしても発生します。日頃よりコミュニケーションを密に取り、協力、理解してもらうことにより、家族の大切な時に休むことができる。これから配偶者として出産を迎える人たちにとって、そのような休暇になることを願います。

(20代男性・子供2人のパパの体験談)



コロナで入れない・・・

育児・介護休業法が改正され、  
今年10月からは出生時育児休業取得が可能になります

OR4. 10. 01～

「産後パパ育休（出生時育児休業）」

出生時育児休業（通称：産後パパ育休）：子の出生後8週間以内に4週間まで取得可能。2回の分割が取得可能であり、休業中の就業が可能（労使協定を締結している場合のみ）。なお、育児休業は別途取得できる。

参考）厚生労働省. 育児・介護休業法について

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000130583.html>